

平成 29 年 2 月 23 日

**平成 29 年度 自動走行実証推進事業への応募申請書**

	市町村名	春日井市
連絡先	部署名	まちづくり推進部ニュータウン創生課
	担当者役職・氏名	創生担当主査 村上貴幸 創生担当主任 津田哲宏
	電話番号	(0568) 85-6048
	FAX番号	(0568) 85-0991
	メールアドレス	nt-sosei@city.kasugai.lg.jp

**○ 本事業への応募理由**

本事業への応募理由、狙い等について、自動走行システムへの期待やそれを活用することにより解決すべき行政課題を含めて記載してください。併せて、実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等も記載してください（今年度実施した地域におかれては、その点も踏まえて記載してください）。

テーマ：高蔵寺ニュータウンの新たな移動手段の確保による先進的なまちづくりモデルの構築

(1) 実証地域（ルート）において、自動走行システムを活用することにより、解決すべき行政課題（高齢者対策、交通不便地対策、観光振興対策等）が存在すること。  
⇒  
高蔵寺ニュータウンは、まちびらきから約 50 年が経過し、人口の減少及び高齢化が進展し、まちづくりに対する課題に直面している。また、坂道が多いという地形上の特性を有している。  
  
平成 28 年 3 月には、こうした課題等に対応するため「高蔵寺リ・ニュータウン計画（以下「計画」という。）」を策定し、今後 10 年間に実施する各種プロジェクト・施策を定め

ている。

計画では、「多様な交通手段の確保」を定め、商業施設までの無人タクシーによる自動走行やパーソナルモビリティなどを確保することにより、高齢者を始めとした全ての住民の買い物等の移動手段となり、交通拠点周辺やまちの賑わいの創出を目指すこととしている。

今回、自動走行システムは、計画における行政課題を解決する効果的な手段として認識しており、今年度の愛知県自動走行実証推進事業に引続き応募することにより、更なる実証を行っていきたいと考えている。

(2) 実証実験の成果を活用し、当該行政課題を解決するための自らの施策展開の方向性等が明確なこと（市町村のまちづくり計画等への位置付けや、市町村や地域の交通事業者等との関係者が連携し施策を具体化する体制の構築が見込まれることなど）。

⇒

本申請は、計画における展開プロジェクト「交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築」及び課題に応じた主要な施策「多様な移動手段の確保」に資するために行うものである。

今年度は、愛知県自動走行実証推進事業に採択を受け、高蔵寺ニュータウン内で実際に市民モニターによる無人タクシーの疑似体験走行の実証実験を行った。

この実証実験の取り組みにより、高蔵寺ニュータウン住民の自動走行に対する期待が高まっており、全国的にも注目されていると認識している。

また、バス・タクシー事業者も概ね実験に協力的である。

今後においても、本市の行政課題として位置付け、平成 29 年度当初予算に「高蔵寺ニュータウンにおける自動走行実現化研究業務委託」の費用 12,700 千円を予算計上しており、高蔵寺ニュータウンのフィールドにおいて産学官連携でいつでも自動走行実証を行うことができるよう、特定地域（現在のところ、高森台地区及び中央台地区内の全道路を想定）の高精度 3D マップを作成する予定である。

そのため、本申請が認められた場合、本市の予算を含めた面的なエリアにおいて、より実際の住民ニーズに合った実証実験が可能となる。

高蔵寺ニュータウン内においては、現在、高密度の充実したバス交通網を有している。また、今回の無人タクシーによる自動走行に加え、平成 29 年度から民間事業者との連携により 1～2 人乗りの小型電動コンセプトカー等のパーソナルモビリティの実証実験を行う予定である。このため、無人タクシーによる自動走行とバス・パーソナルモビリティとの住みわけなどの研究を並行して行うことにより、地区全体の次世代交通ネットワークの構築を目指している。

これらの先進的な取組を推進することにより、全ての住民の買い物等の移動機会を確保し、先進的なまちづくりモデルの構築へ繋げていきたい。

(スペースは適宜広げて記載してください)

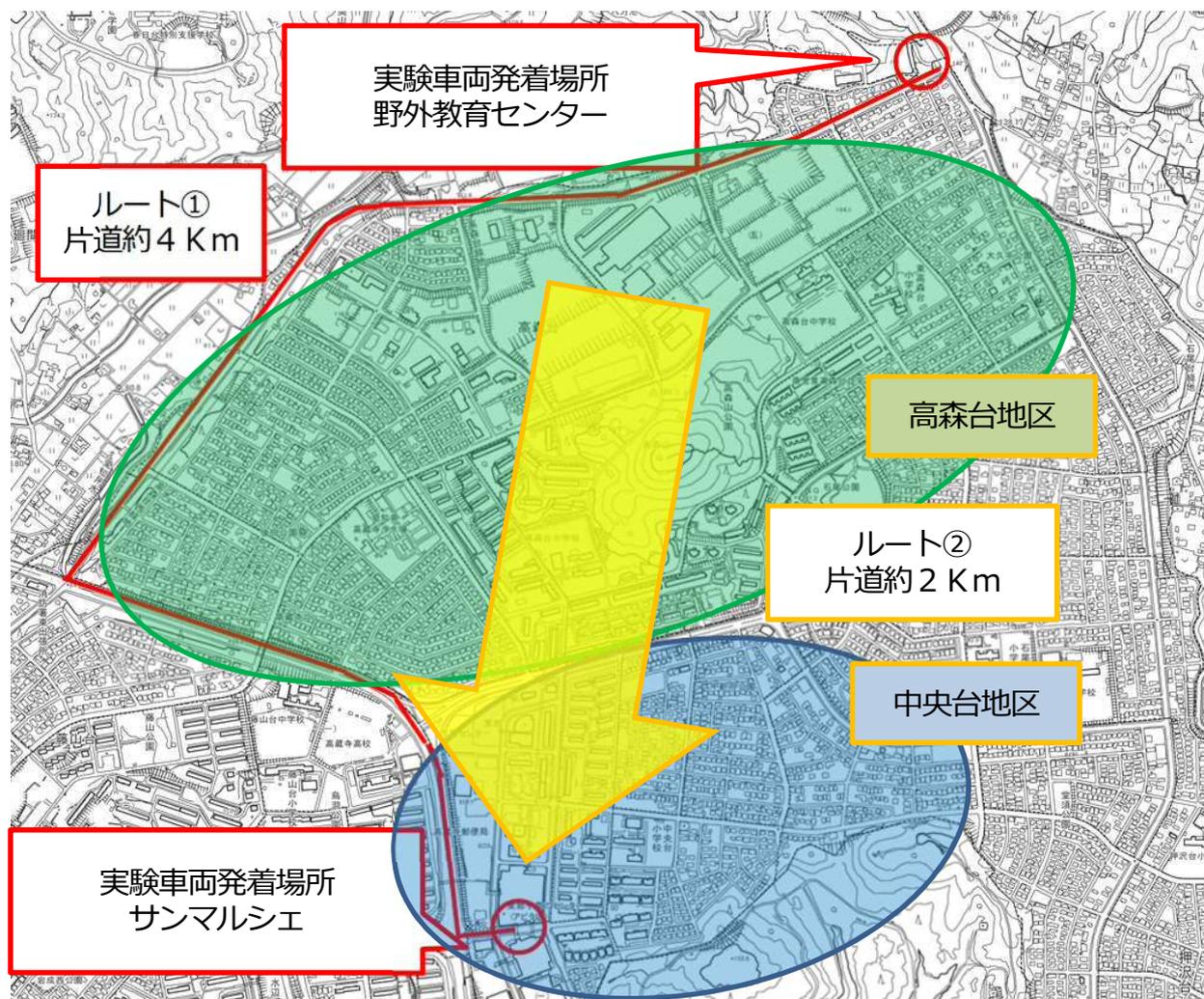
## ○ 実証実験実施場所、ルートの詳細

以下の点を記載及び地図に明示してください。路線内にある信号交差点、起点・終点場所、主要な施設（駅、病院、公共施設等）を示してください。

### 1 ルート（起点→終点）

- (1) ルート① 野外教育センター（少年自然の家）（高森台）→サンマルシェ（中央台）
- (2) ルート② 高森台地区→中央台地区（任意）（例：個人宅等からサンマルシェ等への移動を想定）

## 2 ルート（地図）



## 3 地理条件（既存のバスルートの有無、運行本数や地域の状況等を記入）

### (1) ルート①

#### ア 既存のバスルート

名鉄バスルート有（平日1日あたり7本程度）。

#### イ その他

現在、サンマルシェ循環バス（高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社が運営する買い物支援用バス）についても、上記ルートは経由しておらず、地域から当該循環バスのルート変更の要望があるなど、地域ニーズは満たしていると考えられる。

### (2) ルート②

#### ア 既存のバスルート

名鉄バス、サンマルシェ循環バス、春日井シティバスなど多数。

イ その他

地区内に小中学校があるため、通学路等に注意が必要。

4 道路条件（募集要項も参照のこと）

項目名	内容
路線距離	ルート① 片道約4キロ ルート② 片道約2キロ
車線数	ルート① 片側3車線又は1車線を確保
道路構造	ルート① 歩車分離（右車線はガードレールなし）、勾配ほとんどなし ルート② 選択ルートによる
道路種別	ルート① 市道138号線、市道137号線 ルート② 選択ルートによる
トンネル、踏切	ルート①、②ともに無し
交通量	ルート① 全体的に少なく、普段渋滞は発生しない。 歩行者、自転車についても交通量は少ない。 ルート② 全体的に少なく、普段渋滞は発生しない。
交差点	ルート① 右左折する四差路2か所、丁字路1か所 ルート② 選択ルートによる
起点・終点	ルート① 起点：野外教育センター（少年自然の家）入口 終点：サンマルシェ 駐停車場所、モニター調査実施場所の確保可能 ルート② 選択ルートによる
その他特記事項	ルート① 3車線の走行ルートにおいては、ニュータウン特有の谷筋の道路形態であるため、横から流入できる箇所があまりない。 ルート② 選択ルートによる

5 写真（次のものを貼り付けてください。Google ストリートビューなどでも可。容量はワードファイル全体で5MB以下としてください。）

ルート①

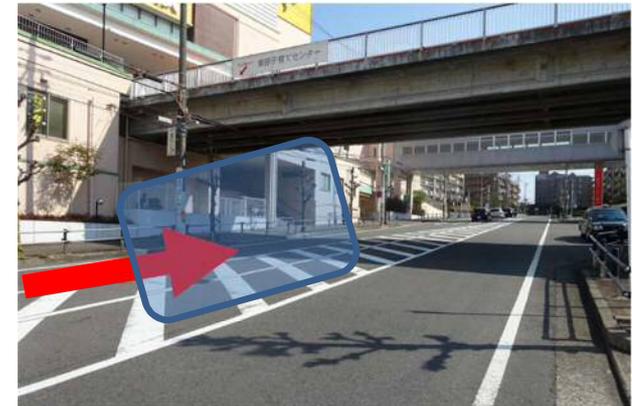
(1) 道路の様子（主要地点数カ所）



(2) 起点、終点場所（駅、公共施設等）



(□囲み箇所が車両待機場所)



ルート②

選択ルートによる

6 高精度3Dマップの有無

有

高森台地区、中央台地区等（平成29年度中に作成予定）

※調整の上、変更可能

7 貴自治体における自動走行に関連した独自の取組（実績、平成29年度の予定・予算措置状況等）

高蔵寺ニュータウンにおける次世代移動サービス実証実験（平成29年10月頃）

（民間事業者と連携した1～2人乗りの小型電動コンセプトカー等のパーソナルモビリティを用いた移動支援等）

8 その他参考資料（ある場合は添付）